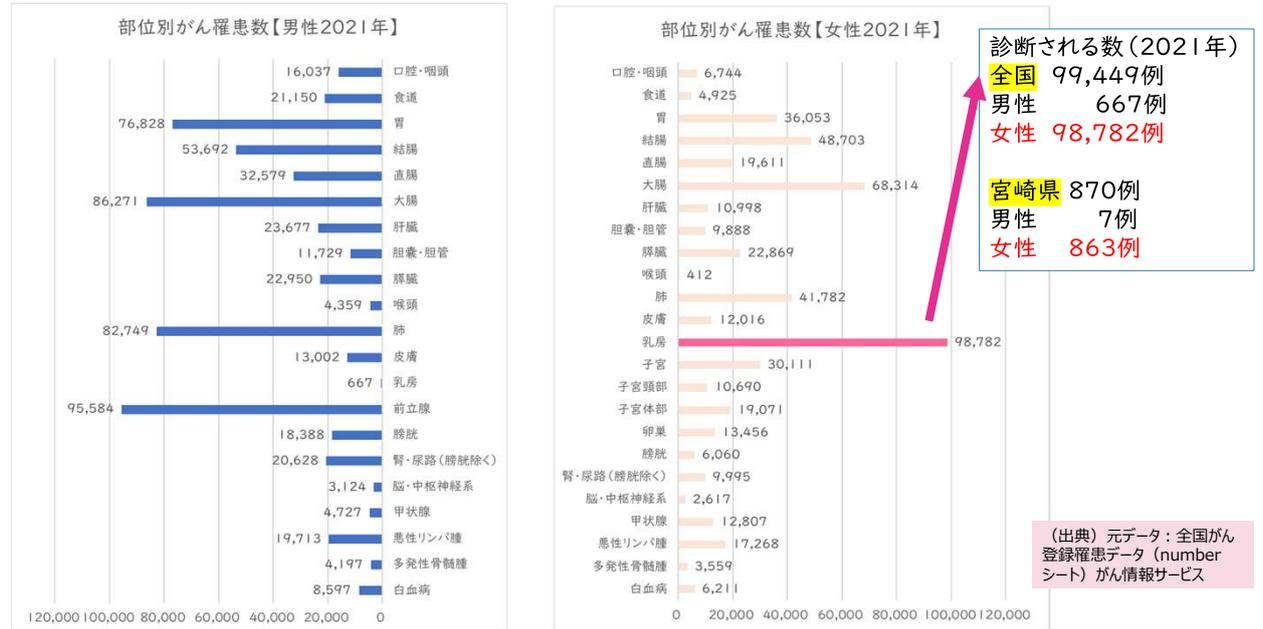
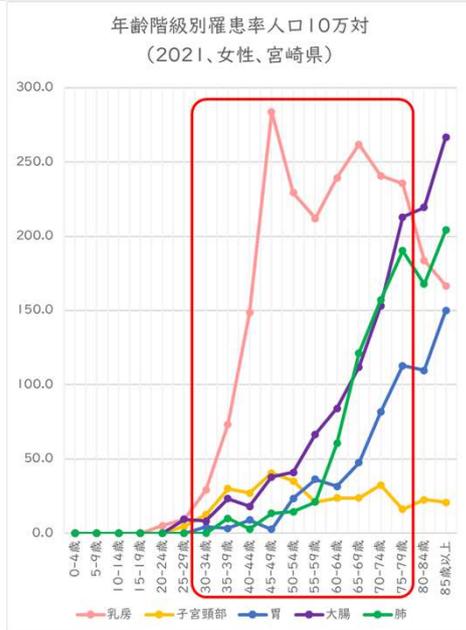


罹患（新たに診断されること）：ほかのがん種と比べるとどのくらいの頻度か？



年齢階級別罹患率の比較（5がん）：どの年齢層で多いのか？

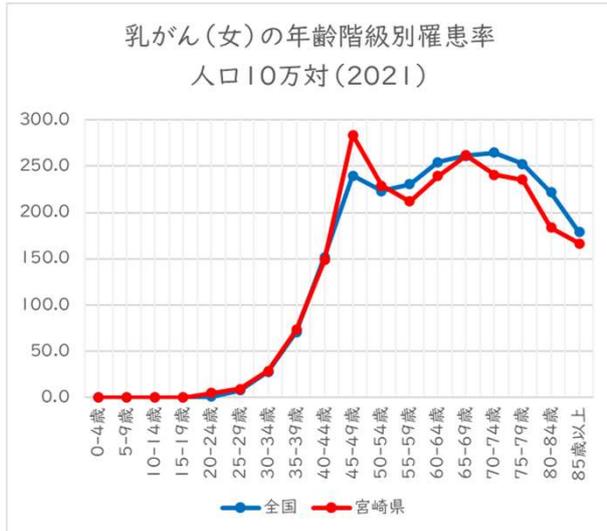


- 女性では30歳から増え始め70歳後半までは、どのがん部位よりも乳がんと診断される方は、多くなります。
- 宮崎県で2021年に乳がんと診断された女性は、863人でした。



(出典) 全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2016年-2021年：ファイル内容
 全国・都道府県別年齢階級別(85歳以上丸め)罹患率(人口10万人対)、部位、性、診断年別

年齢階級別罹患率の比較（全国と宮崎県）：どの年齢層で多いのか？



- 全国と宮崎県を比較すると、20～39歳、45～49歳、65～69歳の年代で宮崎県は全国に比べ罹患率が高くなっています。

(出典)

全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2016年-2021年：ファイル内容
全国・都道府県別年齢階級別（85歳以上丸め）罹患率（人口10万人対）、
部位、性、診断年別

年齢調整罹患率の推移（全国と宮崎県）

注) 基準人口は昭和60年(1985年)モデル人口を使用



- がんは、高齢になるほど罹患率が高くなります。その為、年齢構成が異なる集団で罹患率を比較する場合や同じ集団で罹患率の年次推移を評価するために年齢調整した値を用います。
- 全部位のがんの年齢調整罹患率では、宮崎県は減少傾向です。

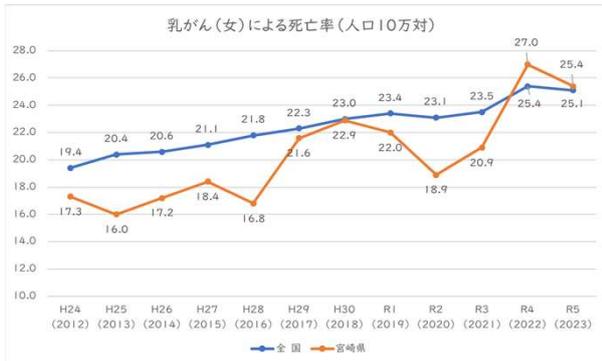


(出典)

全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2016年-2021年：ファイル内容
全国・都道府県別年齢調整罹患率（人口10万人対）、部位、性、標準人口
（昭和60年日本人モデル人口）、診断年別

死亡数・率の推移：過去12年間の乳がん（女）死亡数・率は？

年		H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	
乳 房	死亡数	全国	12,529	13,148	13,240	13,584	14,015	14,285	14,653	14,839	14,650	14,803	15,912	15,629
	(人)	宮崎県	103	95	101	107	97	124	130	124	106	116	149	138
	死亡率	全国	19.4	20.4	20.6	21.1	21.8	22.3	23.0	23.4	23.1	23.5	25.4	25.1
	(全国順位)	宮崎県	17.3	16.0	17.2	18.4	16.8	21.6	22.9	22.0	18.9	20.9	27.0	25.4
			(38)	(46)	(43)	(42)	(46)	(25)	(21)	(35)	(42)	(41)	(9)	(23)



- 2012年と直近値を比較すると全国5.7ポイント、宮崎県8.1ポイント増えています。
- 宮崎県は、前年比1.9ポイント減となっています。
- 乳がんの死亡率は、全国と比べ宮崎県は低く推移していましたが、2022・2023年は全国値よりも高くなっています。

(出典) 人口動態統計（確定数）

各市町村別の乳がんの死亡数推移：2017～2023

	H29(2017)		H30(2018)		R1(2019)		R2(2020)		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	-	124	-	130	-	124	-	106	3	116	2	149	-	138
宮崎市保健所	-	48	-	42	-	56	-	38	1	34	1	55	-	59
宮崎市	-	48	-	42	-	56	-	38	1	34	1	55	-	59
都城保健所	-	24	-	23	-	20	-	12	-	23	-	30	-	21
都城市	-	21	-	21	-	20	-	11	-	20	-	24	-	20
三股町	-	3	-	2	-	-	-	1	-	3	-	6	-	1
延岡保健所	-	12	-	21	-	11	-	20	-	15	-	18	-	14
延岡市	-	12	-	21	-	11	-	20	-	15	-	18	-	14
日南保健所	-	11	-	10	-	7	-	9	-	9	-	10	-	9
日南市	-	8	-	9	-	5	-	7	-	7	-	10	-	8
串間市	-	3	-	1	-	2	-	2	-	2	-	-	-	1
小林保健所	-	10	-	13	-	5	-	6	-	9	-	8	-	4
小林市	-	9	-	8	-	2	-	3	-	4	-	6	-	3
えびの市	-	-	-	3	-	1	-	2	-	3	-	2	-	1
高原町	-	1	-	2	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-
高鍋保健所	-	10	-	10	-	7	-	10	2	14	1	13	-	13
西都市	-	5	-	2	-	2	-	6	-	5	-	6	-	5
高鍋町	-	3	-	2	-	1	-	2	2	2	-	2	-	2
新富町	-	1	-	1	-	2	-	1	-	5	-	1	-	2
西米良村	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木城町	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1	2	-	-
川南町	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3
都農町	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1

	H29(2017)		H30(2018)		R1(2019)		R2(2020)		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
高千穂保健所	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	4	-	4
高千穂町	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	2
日之影町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2
五ヶ瀬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日向保健所	-	7	-	9	-	11	-	7	-	5	-	6	-	11
日向市	-	5	-	4	-	7	-	6	-	4	-	5	-	9
門川町	-	2	-	3	-	3	-	1	-	1	-	1	-	1
諸塚村	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
椎葉村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美郷町	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
中央保健所	-	2	-	2	-	6	-	3	-	3	-	5	-	3
国富町	-	2	-	2	-	3	-	1	-	3	-	4	-	2
綾町	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	1	-	1

(出典) 衛生統計年報（第70～76号）

年齢調整死亡率の比較

注) 基準人口は昭和60年(1985年)モデル人口を使用

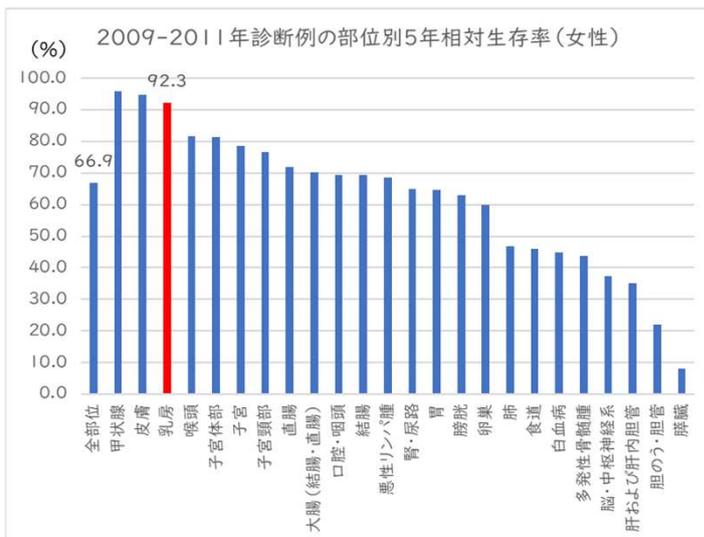
都道府県別75歳未満がん年齢調整死亡率(2023年)



- 全国は、過去10年間ほぼ横ばいで推移している。(死亡率は増加傾向)
- 宮崎県は、2014年と直近値を比較すると4.1ポイント増えています。
- 2023年の結果は、宮崎県は全国で3番目に高い結果となっています。

(出典) 左図: がんネットみやぎHP

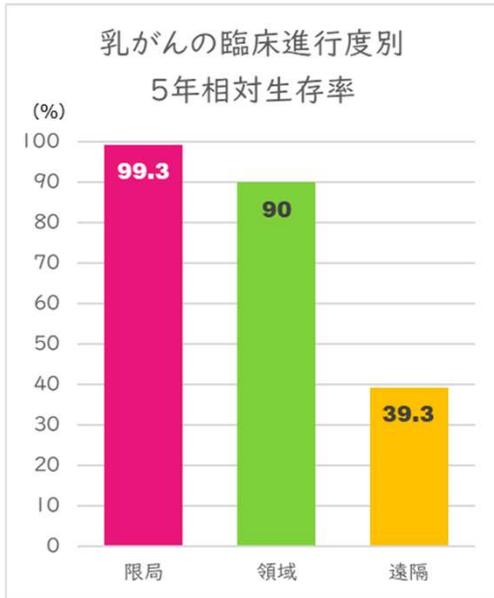
部位別がん5年相対生存率【女性 2009~2011年】



- 相対生存率: あるがんと診断された場合に治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標の一つ。異なる集団や時点などを比較するために用いられ、診断から5年後の相対生存率(5年相対生存率)が慣例的によく用いられます。
- 乳がんは、他の部位に比べ相対生存率は高いことが分かります。

(出典) 元データ: 地域がん登録によるがん生存率データ
がん情報サービス https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html#a30

部位別がん5年相対生存率【女性 2009～2011年】

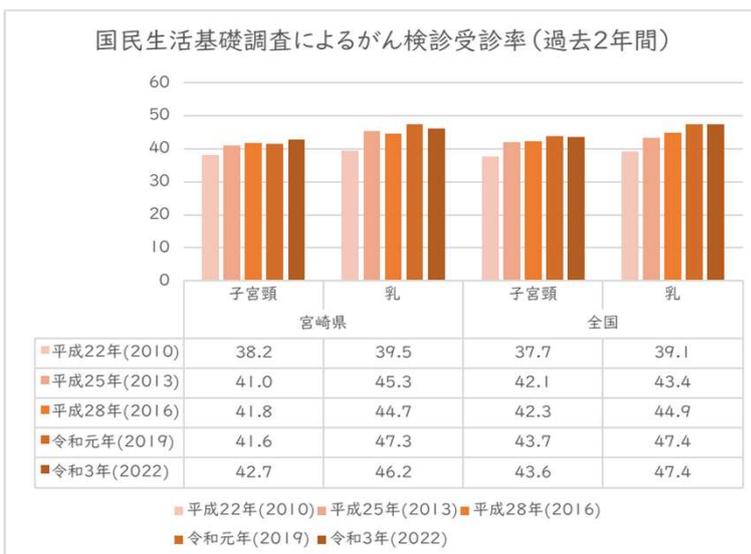


- 臨床進行度別で見ると、早い段階（限局）で乳がんを発見し、治療することができると、5年相対生存率は**99.3%**である。

- 限局**: 原発臓器に限局している
- 領域**: 所属リンパ節転移または隣接臓器浸潤
- 遠隔転移**: 遠隔臓器、遠隔リンパ節などに転移・浸潤あり

(出典) 元データ: 地域がん登録によるがん生存率データ
がん情報サービス https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html#a30

がん検診受診率の比較（2010-2022の推移）



- 国の「がん対策推進基本計画（令和5年、第4期）」において**60%以上**の達成が個別目標の一つに掲げられています。
- 「国民生活基礎調査」においてがん検診受診率は3年に1度調査されています。

注意: この数値は、対象者の回答に基づくものです。実際に検診を受診した人数を集計したものではありません。対象者の記憶違いなどによる誤差が含まれています。

(対象年齢) ※過去2年間の受診率
子宮頸がん: 20-69歳 乳がん: 40-69歳

(出典) 国民生活基礎調査